

28年度にも日本に就航

オリエンタルランドが2028年度にも、日本を拠点に「ディズニークルーズ」を展開する。米国でクルーズ事業を展開する「ディズニー・エンタプライゼス・インク（ディズニー社）」と7月9日にライセンス契約を締結。約14万総トンの新造船を25年から建造し、28年度中に就航する予定で「フアマミリーエンターテインメントクルーズ」を実現するとしている。

新造船は総客室数約1250室、乗客定員約4千人、乗組員数約1500人。日本船籍で、首都圏の港を発着する2〜4

ディズニークルーズ



ディズニークルーズのイメージ (©Disney)

費で約3300億円を見込む。

ディズニークルーズは1998年に米国で就航し、ディズニーの様々なコンテンツの世界を船上で体感でき、現在は5隻で運航している。近く3隻を増やしシンガポールでの就航も予定している。日本におけるクルーズは、東京ディズニリゾート（TDR）と連携した2〜4泊と短期で、料金は10万円から。カジュアルからプレミアム層まで幅広くターゲットを想定している。

泊程度の短期航路を中心に運航する。具体的なディズニークルーズ事業開始による総投資額は建造費や開業準備

本紙で「新クルーズ学」を連載している大阪府立大学名誉教授の池田

良穂さんは「これまでの日本のクルーズの客層とは違った新しい層を船旅に誘ってくれるに違いない」としており、池田さんによると、日本のディズニークルーズが目標とする年間旅客数は、現在の日本のクルーズ人口35万人よりも多い40万人だという。

今から約四半世紀前の1998年に池田さんが座長を務め、運輸省が設けた客船クルーズ事業振興懇談会で「日本のクルーズ人口100万人構想」を打ち出していた。

それから30年後の28年度には「100万人がいよいよ現実のものになる」と、ディズニークルーズ

日本就航を池田さんは心待ちにしている。

クルーズ人口100万人実現へ